

黎明

仙台市立錦ヶ丘中学校
第一学年だより No. 5
2024. 5. 9

「共に生きる」を考える日

8日(水)に錦オールが段階的に開始されました。「互いを認め合う日」そして「共に生きるを考える日」として過ごすこととなります。それぞれ互いの個性を認め合いながら、「生き方」について考えることに特化した1日です。今後も様々な取組の中で、「心を育む」ことができるように工夫をしていきたいと思いません。

ともいきミニッツ



今回は、「中学生は大人か?子供か?」について資料を基に考えを深めました。今の自分たちはどうなのかを考え文章にまとめていました。下記に何名かの意見をご紹介します。

私は中学生は大人だと思います。

理由は、少年ケンティーマが言っているとおり、何かしたときに責任はとれなかったり、お金はまだ稼げなかったりするけど、中学生からは電車や遊園地のフリーパスとかは、大人料金として払わなければいけないので中学生は大人だと思います。

S, Y

私は中学生は大人の道を歩み始めているのだと思います。

なぜかという、確かに運賃は大人料金でとられるけれど、お酒は飲めないし、たばこも吸えないし、大人とは言い切れないと思ったからです。中学生から大学生にかけて、少しずつ大人に変わっていくと思います。なので私は、中学生は大人になる道を歩み始めている子供だと思います。

S, R

ぼくは大人でも子供でもないと思います。確かに中学生は大人料金だし、体も大人に近づけど、中学生料金のところもあるし、料金は場所によって変わってくる。責任はとれないし、お金も稼げない。だけどそれは法律上の話であって捉えかたは人それぞれでいいと思う。だからぼくは大人でも子供でもないと思います。

E, H

ぼくは中学生はまだ子供だと思います。

一つの理由は社会的なことです。例えば、たばこは20歳以上にならないと吸えない、お酒を飲むのも20歳以上などといった決まりがあります。このような決まりのある年齢でないと大人といえないと思います。

二つの理由は、それは学力です。中学生のうちはまだ社会へ出て仕事ができるような年齢ではありません。なので仕事のできる年齢がぼくにとっての大人といえます。

N, H



服装自由化について



まず、錦オールの日は・・・

- ☆ 互いの個性を認め合う日
- ☆ 自己を見つめ直す日
- ☆ 自己決定力を向上させる日
- ☆ 制服の意味を考える日
- ☆ 生き方について考える日
- ☆ 共に生きるを考える日



服装選択の注意点



- ① 服装の自由化（選択）なので、制服・体育着・私服のいずれかを選ぶ。
→これまでの学校生活と同じと考えるので、装飾品を身につけることや髪を染めることを目的とした日ではありません。
- ② 体育の授業は従来とおり学校指定の体育着。部活動も従来とおり。

桜花宣言について



錦ヶ丘中学校では、「いじめ防止」のために、生徒会が中心となって作成した「桜花宣言」があります。先輩たちが、「いじめ」について真剣に考え、生徒主体となって「いじめ」をなくす行動を起こしたものです。この言葉の意味をしっかりと受け止め行動していきましょう。

錦ヶ丘中 いじめ撲滅

桜花宣言

中学校生活は、誰もが楽しむ権利があります。しかし、一人一人の些細な言動がいじめに発展していきます。いじめは絶対に許されるものではありません。一人一人を尊重し、錦中生全員が、かけがえのない中学校生活を謳歌できるように、下記のことを心掛けて生活していきます。

- 一. 自ら積極的にあいさつを交わします。
- 一. 自分がされて嫌なことはしません。
- 一. 他者を認め、相手の立場に立って行動します。
- 一. 友人と適度な距離感を保ち、平等に接します。
- 一. 困っている人がいたら、心の支えとなり、どんな人でも助けます。

私たちは、生徒同士が認め合い、明るく優しい言葉が飛び交う、誰もが幸せを感じられる学校を目指します。そのために、錦ヶ丘中の生徒は上記の5個のことを心掛けて学校生活を送ることをここに誓います。



令和元年 12月5日
仙台市立錦ヶ丘中学校 全校生徒一同

